

ご挨拶

会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび大東文化大学におきまして、会計理論学会第38回全国大会を開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。

本年は統一論題のテーマを「新しい会計学の可能性—ポスト実証主義の会計研究」としました。日本福祉大学の新谷司先生を座長とし、報告をポスト実証主義の会計研究に関心をよせる研究者の中で優れた研究成果をあげておられる中堅、若手の4名の先生にお願いいたしました。これからポスト実証主義の会計研究の展開を図る契機となり、活発な報告・討論が行われることを期待したいと思います。

また、スタディグループ「収益認識についての総合的研究」の最終報告も行われ、自由論題についても近年では最多の11本の報告が行われることになりました。活気あふれる大会となることを願っております。

なお、大変申しわけありませんが、大学の設備およびスタッフが十分整わず、オンラインによる参加を準備することができません。本大会は対面のみによる開催とさせていただきますので、ご了承いただければ幸いに存じます。

多数の皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

2023年8月吉日

会計理論学会第38回全国大会準備委員会
委員長 白坂 亨
委 員 山口由二
橋本寿哉

『大会の参加手続き（登録）について』

参加申し込みは、同封の返信ハガキにご記入いただき、9月20日（水）までに必ずお送りください。ハガキの受領により参加登録をさせていただきます。

大会参加費は3,000円です（大会当日、会場での支払いとなります）。

名札として利用させていただきますので、御名刺をご持参ください。

『懇親会について』

今回の大会においてはCOVID19の影響でキャンパスにおける会食が禁止されており、懇親会は開催できませんので、ご了解願います。

『10月1日の昼食について』

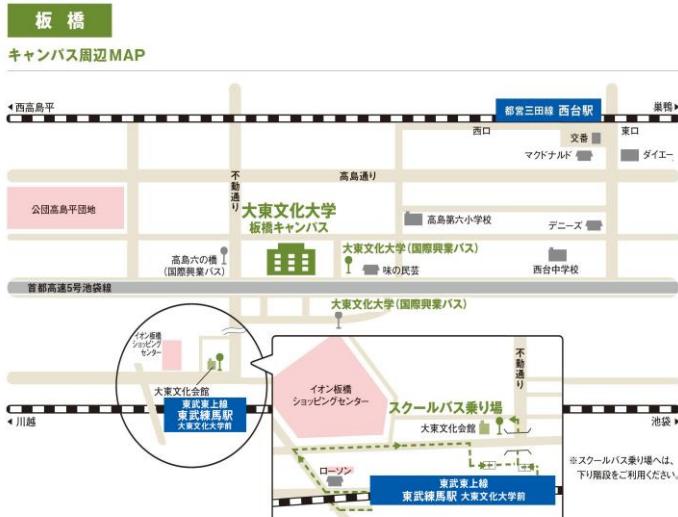
昼食のお弁当は準備しておりません。会場近くの飲食店を大会当日、ご案内させていただきます。

『宿泊について』

宿泊につきましては、都営三田線の沿線（巣鴨、池袋、水道橋等）で早めにお探しください。

『交通アクセス』

都営三田線「西台」西口下車 徒歩9分（こちらを推奨）
東武東上線「東武練馬」西口下車 無料スクールバスで約7分（注意：日曜の運行はありません）



会計理論学会 第38回全国大会

2023年9月30日（土）～10月1日（日）



統一論題 新しい会計学の可能性 —ポスト実証主義の会計研究—

会場：大東文化大学 板橋キャンパス

会計理論学会第38回全国大会準備委員会

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1

大東文化大学経営学部 白坂 亨研究室内

E-mail toru.s@isis.ocn.ne.jp

電話 03-5399-7368（経営学科事務室）

第38回全国大会プログラム

本大会はハイブリッドではなく、対面のみにより開催いたしますのでご了解ください。ご不便をおかけしますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

第1日 2023年9月30日(土)

- 12:00~17:30 参加者受付(3号館1階ロビー)
会員控室(3号館30110教室)
12:40~13:20 会員総会(3号館30111教室)
13:30~14:15 スタディグループ最終報告
(3号館30111教室)(報告30分、討論15分)

〔司会〕徳前元信(福井県立大学)

代表 岩崎 勇(大阪商業大学)

「収益認識についての総合的研究」

—休憩—

- 14:30~17:30 統一論題報告
(3号館30111教室)(報告40分)

〔座長〕新谷 司(日本福祉大学)

1. 金森絵里(立命館大学)
「ポスト実証主義の会計研究の可能性と課題—原発会計の視点から」
2. 村上 理(跡見学園女子大学)
「会計基準設定の政治力学—方法論的個人主義批判の視点から」
—休憩—
3. 中村恒彦(桃山学院大学)
「学際的・批判的会計研究と会計ステレオタイプ研究—会計学説からステレオタイプへ」
4. 橋本寿哉(大東文化大学)
「会計実践を生んだ意識の史的考察—人文科学的会計研究の可能性」

第2日 2023年10月1日(日)

- 自由論題報告(第1会場:9:00~12:30)
(第2会場:9:00~11:55)
統一論題討論(3号館30111:13:30~15:30)
会員控室(3号館30110教室)
- 〔第1会場〕(3号館30111教室)(報告20分質疑10分)
〔司会〕田村八十一(日本大学)
- 第1報告 9:00~9:30
土屋文乃(明治大学大学院卒)
「のれんに関する会計基準選択と経営的背景—のれんの会計処理と企業のIFRSへの移行」
- 第2報告 9:35~10:05
山口由二(大東文化大学)、山口不二夫(明治大学)、ラス・グレノン(マンチェスター・メトロポリタン大学)
「NHS イングランドの財務分析—コロナの影響を中心に」
- 第3報告 10:10~10:40
山口不二夫(明治大学)
「経営分析の社会的役割と会計研究」
—休憩—
- 〔司会〕小栗崇資(駒澤大学)
- 第4報告 10:50~11:20
木村眞実(長崎大学)
「資源の有効利用に資する原価計算とは—再資源化業者の原価からの検討」
- 第5報告 11:25~11:55
村井秀樹(日本大学)
「GX 推進法と会計基準との乖離」
- 第6報告 12:00~12:30
内野一樹(立教大学)
「『資本の自己意識説』の可能性」

第2会場(3号館30112教室)(報告20分質疑10分)

〔司会〕西森亮太(新潟青陵大学)

第1報告 9:00~9:30

- 松井克明(青森公立大学大学院)
「即時償却に関する制度的考察—アメリカ型キャッシュ・フロー法人税を念頭に」

第2報告 9:35~10:05

- 金子輝雄(青森公立大学)
「新たな法人所得課税について—付加価値キャッシュ・フロー法人税の可能性」

〔司会〕岡野泰樹(北海道大学)

第3報告 10:10~10:40

- 梁 最宇(立命館アジア太平洋大学)
「日本企業における内部監査の専門能力と成熟度が内部監査基準の遵守度に及ぼす影響」

〔司会〕相川奈美(名城大学)

第4報告 10:50~11:20

- 野口翔平(日本大学)
「19世紀中葉のイギリスにおける会計の管理から財務報告への展開—1863年から1864年のStaveley Coal and Iron Company, Limitedにおける会計記録を中心に」

第5報告 11:25~11:55

- 高橋伸子(国士館大学)
「イギリス銀行成立期の財務諸表」
—昼食・休憩—

13:30~15:30 統一論題討論(3号館30111教室)

〔座長〕新谷 司(日本福祉大学)

- 金森絵里(立命館大学)、村上 理(跡見学園女子大学)、中村恒彦(桃山学院大学)、橋本寿哉(大東文化大学)

15:30~15:35 閉会挨拶